

7月19日 Webオープンキャンパス

情報学部 質疑応答コーナー

◆「高校までに学んできてほしいこと」について

- 入学試験要項に記載のアドミッション・ポリシーを参照
- 理系・文系は一般入試科目の類型
→ 大学入学後は将来に向けて文理融合の考え方の下、必要なことを学んでいくことが重要
- 情報学を学ぶ基礎として教科「情報」を正しく理解しておく
- 日本語の文章の論理的な読解，論理的な記述
- PCの操作は基本的な操作とクラウド利用経験
【入学後】動画編集や画像作成などは専門科目として体系的に学ぶ

◆「総合型選抜の受け方・内容」について

- ・入学試験要項（総合型選抜）で確認
→出願書類・提出期日・課題遂行型の課題や試験内容など
- ・課題遂行型の作品提出を伴う課題を選択する場合は準備が必要
- ・総合型選抜は併願可
ただし同一試験日内の併願は不可

受け身ではなく主体的かつ能動的に学べることを
課題遂行や資格取得を通じて伝える

◆「学校推薦型選抜」について

- ・入学試験要項(公募制推薦入試)で確認
→8月下旬公開予定(指定校推薦は各高校で入手)
- ・小論文について
→情報システム学科の指定校推薦・付属校推薦は論題を入学試験要項に記載
→公募制推薦は大学ホームページで過去問題公開
- ・面接・口頭試問について
→教科の試験を行うようなことはない

◆卒業後の進路について

- ・就職希望者の内定率(2020年5月11日現在): 93.4%
- ※大学に報告が無く内定している場合もある

【情報システム学科】

- ・ゲームソフトウェアの関連企業への就職も可能
→ゲーム開発のプロセスの中で自分がどのような技能を身に付け、
技能に適した企業を見つけるかが重要

【情報社会学科】

- ・ITに関する知識をマネジメントやコミュニケーションで実現する力が
評価され、企業の総合職や社内SEなどとして活躍する卒業生が多く
いる

【メディア表現学科】

- ・グラフィクスや映像制作のような作品で評価されるためには
“ポートフォリオ”の作成が重要
ADとして採用され、多数の卒業生がディレクターとして活躍中

◆「各学科での学び」について

- ・大学の授業は体系的に知識を伝える
→実技に関する基本やきっかけ
- ・教職課程は本気で教員採用をめざす学生向け

【情報システム学科】

- ・「プロジェクト演習」を中心としたカリキュラム
- ・実践科目→「プロジェクト演習A～E」で1年生の後半から
チーム開発の積み重ね

【情報社会学科】

- ・指定された科目の履修による「図書館司書」の資格申請
- ・実践科目→「総合演習A～C」でのチーム活動の実践

【メディア表現学科】

- ・指定された科目の履修による「社会調査士」の資格申請
- ・実践科目→2年生までの各演習科目, 3年生からの「ゼミナール」
「卒業研究」

◆「大学での学びや生活」について①

- ・資格取得に向けては、授業＋試験対策
 - 試験対策は自主学習を基本として、学科によって奨励金（年度による）
 - 地域連携室が提供する資格講座
 - 学科によっては、授業内でサポート
- ・自習環境
 - 図書館や空き教室（PC教室も授業が無ければ利用可）、オープンPC教室
 - 施設によって20:00～21:30まで利用可能

◆「大学での学びや生活」について

・学部内の男女比(2019年5月1日現在)

【情報システム学科】男83.3%／女16.7%

【情報社会学科】男77%／女23%

【メディア表現学科】男43.2%／女56.8%

※学科の学修内容による男女向き/不向きはありません

・サークル紹介

→大学案内に紹介

・一人暮らしの学生向けに提携アパートを文教サービスで紹介

→湘南台駅から大学, 茅ヶ崎駅から大学のバス路線沿いが多い

湘南台駅付近の学生会館